

◆日建リース工業の傘下に入った狙いは

東宏社長

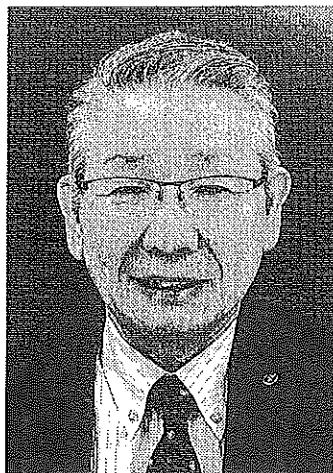
トンネル覆工工事などで多くのヒット商品を開発してきた東宏（札幌市東区、小林雅彦社長）が2018年9月、日建リース工業の子会社となつた。同社はこれまで、大手ゼネコンと共同でコンクリート養生工法「トンネルバルーン」や給水養生工法「アクアカーテン」を開発するなど、40を超える特許を保有している。日建リース工業のトンネル事業部と、今後どのような事業展開をしていくのか、小林社長に聞いた。

— 東宏のこれまでの事業内容は。

「当社はもともと建設資材商社だったが、公共事業の減少に伴い、商社マージンだけでは生きていけなくなってきた

トンネル覆工工事などで多くのヒット商品を開発してきた東宏（札幌市東区、小林雅彦社長）が2018年9月、日建リース工業の子会社となつた。同社はこれまで、大手ゼネコンと共同でコンクリート養生工法「トンネルバルーン」や給水養生工法「アクアカーテン」を開発するなど、40を超える特許を保有している。日建リース工業のトンネル事業部と、今後どのような事業展開をしていくのか、小林社長に聞いた。

◇



小林 雅彦氏

トンネルの覆工コンクリートに押し当てて湿润状態を保つ養生方法。開発当時、総合評価方式がちょうど導入され、技術提案で高得点を得たことから、2年後には全国のトンネル現場に採用された

— 次々と独自工法を開発している。

— 日建リース工業の子会

トンネル急速施工で生産性向上

ていた。前社長と話し合い、

自分たちでオリジナル商品を開発し、値段も自分たちで決められるような商品を販売し

ごと養生する『セントル養生』

や、打設後のコンクリートを

緩衝材の『ブチアシシート』

トンネル工事を強化していた

ことがマッチングの狙いだ。

日建リース工業は事業規模が大きく、信用力も高い。当社

の

業界が抱える担い手の確保や働き方改革の課題解決の一翼

出願中の案件も含め43件（うち共同開発26件）の特許を保有している。この知的財産が

当社の強みだ

— 日建リース工業の子会

社になつた理由は。

「前社長に後継者がいなか

つたこと、日建リース工業が

トンネル工事を強化してい

たことだ。とにかく現場の方々

の声を聞き、困っていること

があれば解決策を提案し、一

緒に開発しようと持ちかけ

る。現場の人たちに『これは

使いやすい』と言つてもらえ

る商品を引き続き開発した

い。特にクリティカルな状況

になりつつある切羽後方の作

業の急速施工に今後は力を入れたい。生産性向上が可能にな

れる。生産性向上が可能にな

れる。当社が力を入れている連続ベ

ルトコンベヤーやクラッシャーで相乗効果（シナジー）を

発揮し、トンネル工事の効率化や省人化を実現したい

— 技術開発の方向性は。

温度強度管理システム』、アラーム繊維を使ったバルーン

で発破時の粉じんなどの飛散

を防ぐ『トラベルクリーンカ

ーテン』、急速施工が可能な